

高齢者が元気な福祉のまち 「長島」



踊りも出て大盛り上がり



楽しい競技で汗を流す高齢者

10月4日、長島町いきいきシルバースポーツ大会と福祉芸能大会が、長島町B&G体育館と長島町文化ホールで開催されました。

この大会は、高齢者がスポーツを通して健康の保持に努めるとともに、親睦を深めることにより生きがいを見だし、地域住民の老人福祉に対する理解と関心を高めることを目的としています。

スポーツ大会には、町内を10地区に分けた高齢者約400人が参加し、声援と笑い声が絶えない楽しい大会となりました。競技では、じゃんけん競走やスプリンリレーなど8種目で順位を争い、平尾チームが見事優勝を果たしました。

午後からの福祉芸能大会には、文化ホール全席が埋まるほどの町民約700人が詰めかけました。

オープニングでは、汐見小学校の樽太鼓による演奏があ

り、樽の心地よい響きに聞き入っていました。また、東保育園の園児からはかわいらしい踊りが披露され観客席からたくさん拍手が送られました。このほか、今年も例年に一味加え、各地区から選ばれたかたがたによる老人カラオケ大会や踊りなどプログラムも多彩。町内の芸達者による歌謡浪曲、相撲甚句、三味線・太鼓などで会場を大いに沸かたせました。約3時間の芸能大会は笑顔と笑い声に包まれ、観客らは楽しいひと時を過ごしていました。

熱唱が続いたカラオケ大会



オープニングを飾った汐見小学校児童の樽太鼓



かわいい踊りを披露してくれた東保育園の園児ら



カラオケ大会の賞を受けとる出演者

